

eBASE株式会社 2024年3月期 第2四半期決算と事業報告

証券コード：3835

目次

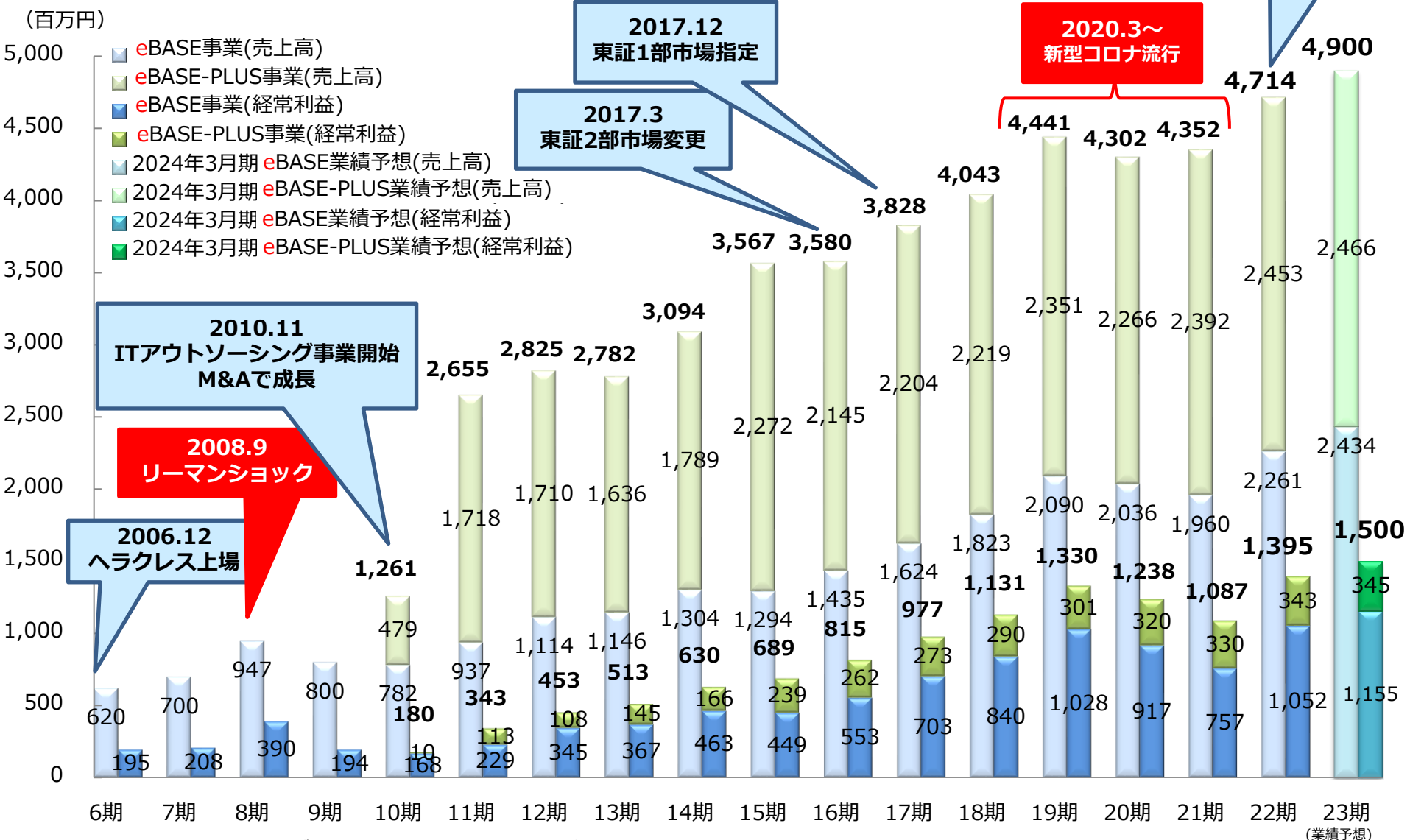
1. 会社概要	P3
2. 上場来の売上高・経常利益推移	P4
3. 当期決算報告	P5～P7
4. 当期セグメント概況/ e BASE事業	P8～P11
5. 当期セグメント概況/ e BASE-PLUS事業	P12
6. 2024年3月期の連結業績予想	P13
7. 資本状況(ROE及びROA等)の推移	P14
8. BtoBビジネス戦略の概要と進捗/ e BASE事業	P16～P26
9. BtoBtoCビジネス戦略の概要と進捗/ e BASE事業	P28～P32
10. ビジネス概要と進捗/ e BASE-PLUS事業	P34,P35
11. e BASEグループの企業理念	P36

会社概要

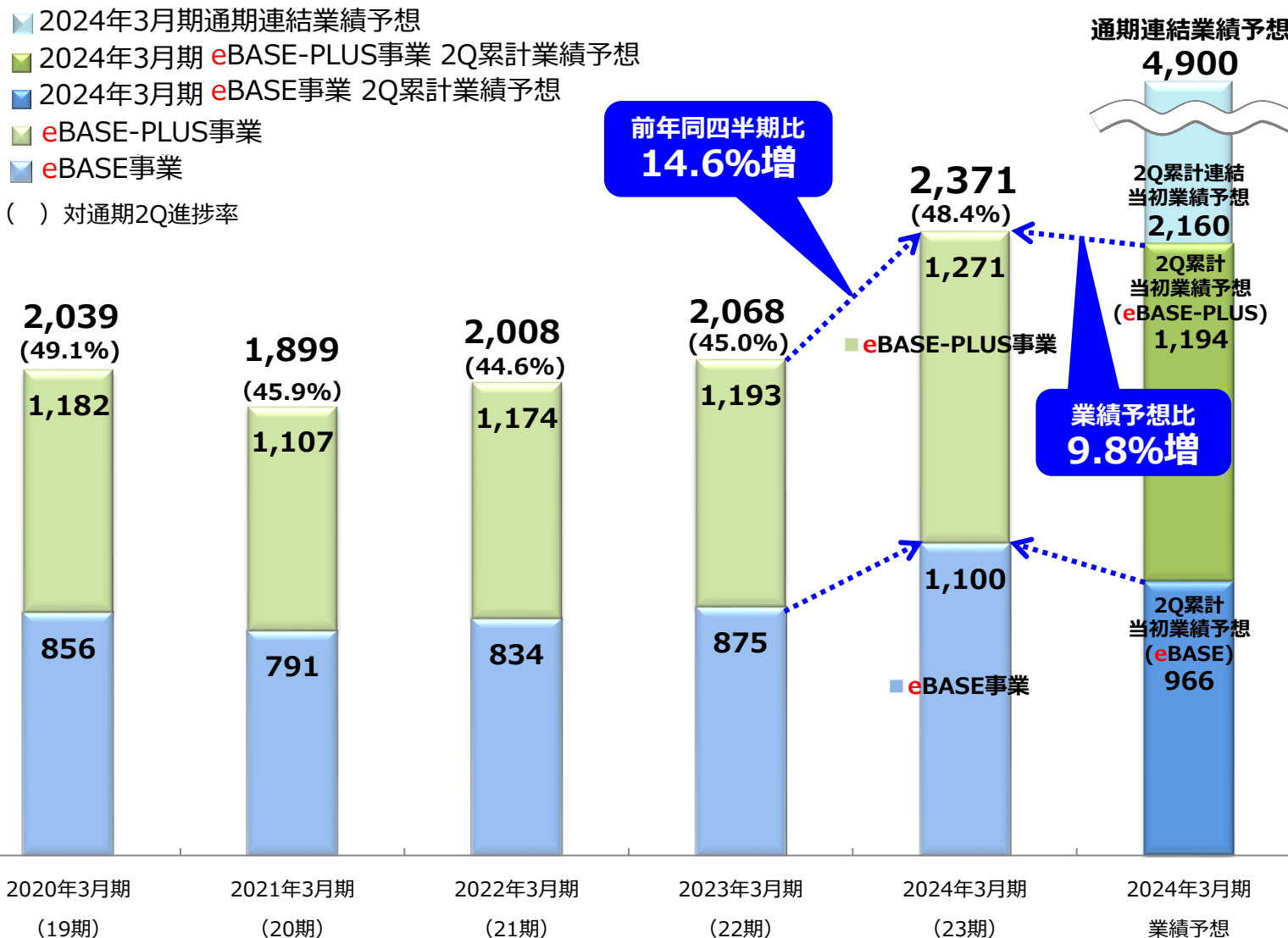
- 会 社 名 : eBASE株式会社 (証券コード : 3835)
- 資 本 金 : 190百万円
- 本社所在地 : 大阪市北区豊崎5丁目4-9 商業第二ビル
- 事 業 内 容
 - eBASE事業 : 商品情報管理システム開発販売事業
 - eBASE-PLUS事業 : IT開発アウトソーシング事業
- グループ総従業員数 : 478名 (486名/役員含む) (2023年4月現在)
- 沿 革
 - 2001年10月 : eBASE株式会社創業
 - 2006年12月 : 大阪証券取引所ヘラクレス市場へ上場
 - 2010年10月 : JASDAQ市場スタンダードへ移行
 - 2017年 3月 : 東京証券取引所市場第二部へ市場変更
 - 2017年12月 : 東京証券取引所市場第一部銘柄へ指定
 - 2022年 4月 : 東京証券取引所プライム市場へ移行

上場来の売上高・経常利益推移

2022.4
東証プライム市場



第2四半期決算 連結売上高の推移



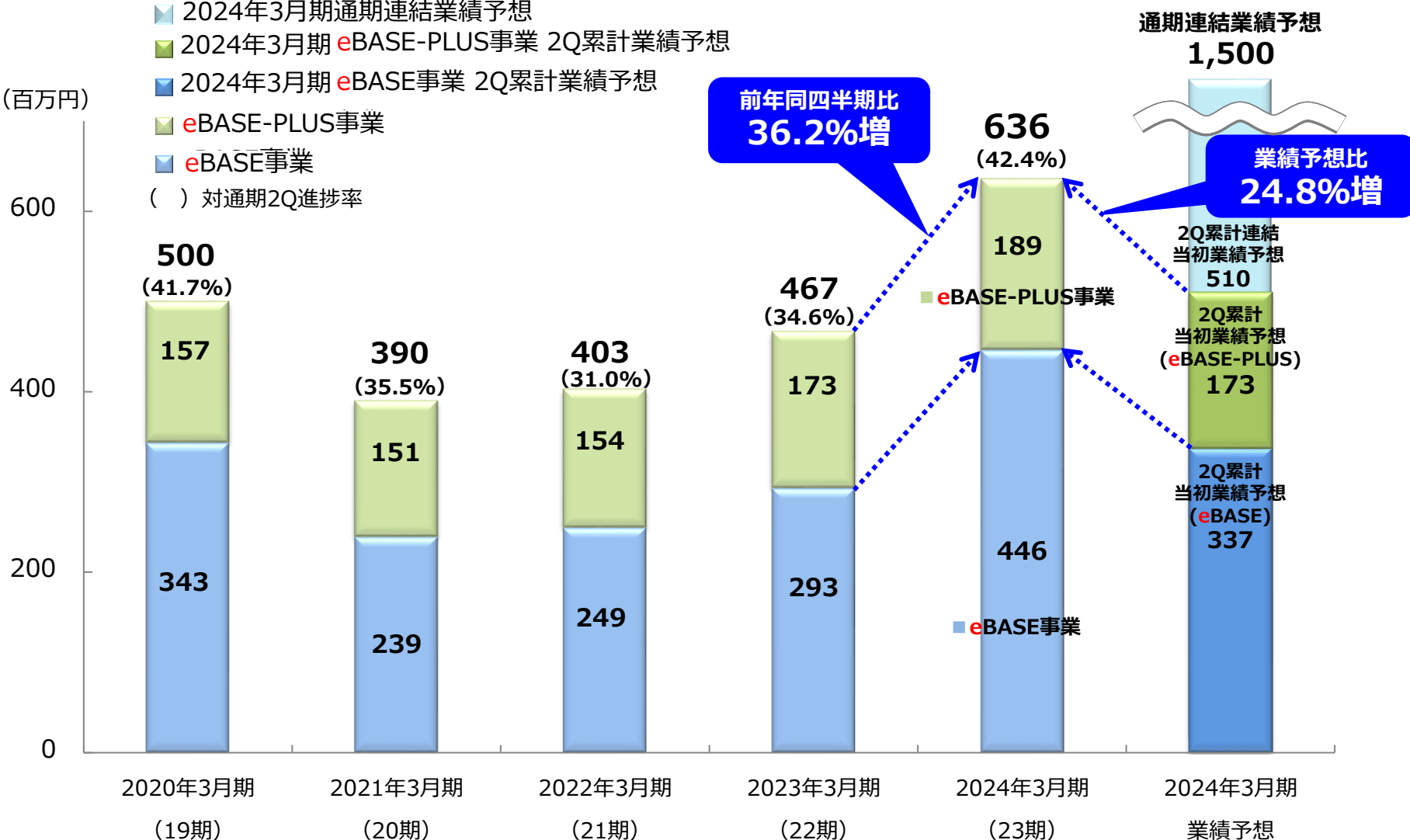
注1) セグメント間取引については、相殺消去しております

注2) 2024年3月期2Q累計連結業績予想値は、5月12日に発表した業績予想値で表しております。

第2四半期決算 連結経常利益の推移

- 2024年3月期通期連結業績予想
- 2024年3月期 eBASE-PLUS事業 2Q累計業績予想
- 2024年3月期 eBASE事業 2Q累計業績予想
- eBASE-PLUS事業
- eBASE事業
- () 対通期2Q進捗率

(百万円)



注1) セグメント間取引については、相殺消去しております

注2) 2024年3月期2Q累計連結業績予想値は、5月12日に発表した業績予想値で表しております。

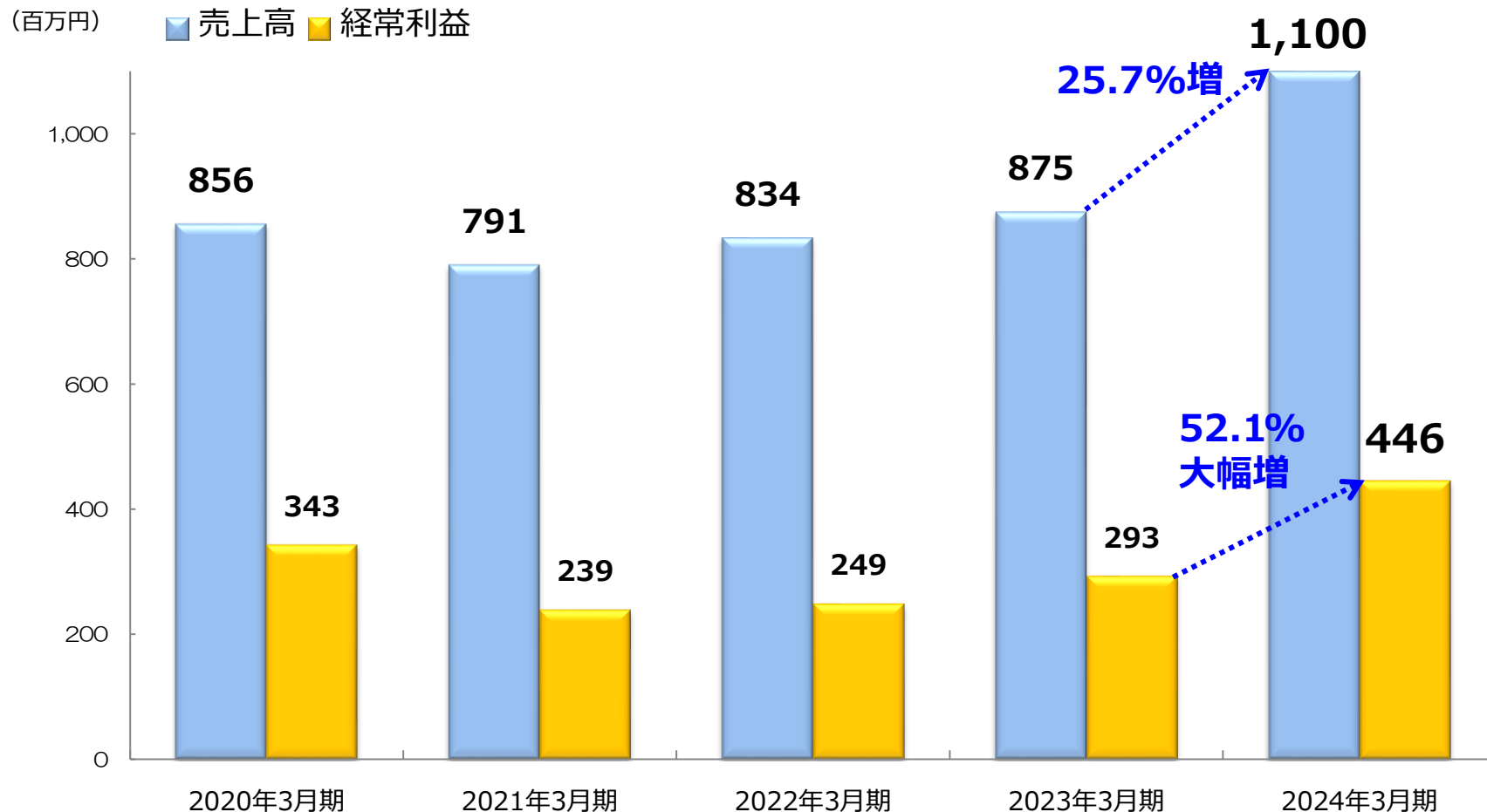
第2四半期決算 連結業績・連結貸借対照表の推移

(単位：百万円)

	2020年3月期 (第19期)	2021年3月期 (第20期)	2022年3月期 (第21期)	2023年3月期 (第22期)	2024年3月期 (第23期)
売上高 (eBASE事業) (eBASE-PLUS事業) (セグメント間取引)	2,039 (856) (1,188) (△5)	1,899 (791) (1,109) (△1)	2,008 (834) (1,175) (△1)	2,068 (875) (1,194) (△1)	2,371 (1,100) (1,272) (△1)
営業利益	481	374	406	446	628
経常利益 (eBASE事業) (eBASE-PLUS事業) (セグメント間取引)	500 (343) (156) (0)	390 (239) (151) (0)	403 (249) (154) (0)	467 (293) (173) (0)	636 (446) (189) (0)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	343	267	277	318	434
	前期 (2023年3月末)	当期 (2023年9月末)	前期末比	注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表しております。	
流動資産	5,569	5,634	64	現金及び預金+288, 受取手形及び売掛金及び 契約資産△233	
固定資産	1,450	1,522	72		
(有形+無形資産)	(197)	(210)	(13)		
(その他)	(1,252)	(1,311)	(58)		
資産合計	7,019	7,157	137		
流動負債	719	645	△74		
負債合計	719	651	△68		
株主資本合計	6,253	6,425	172	利益剰余金+155 (配当金支払△279) (親会社株主に帰属する四半期純利益の計上+434)	
新株予約権	12	7	△4		
純資産合計	6,299	6,506	206		
負債・純資産合計	7,019	7,157	137		

第2四半期決算セグメントの概況/eBASE事業

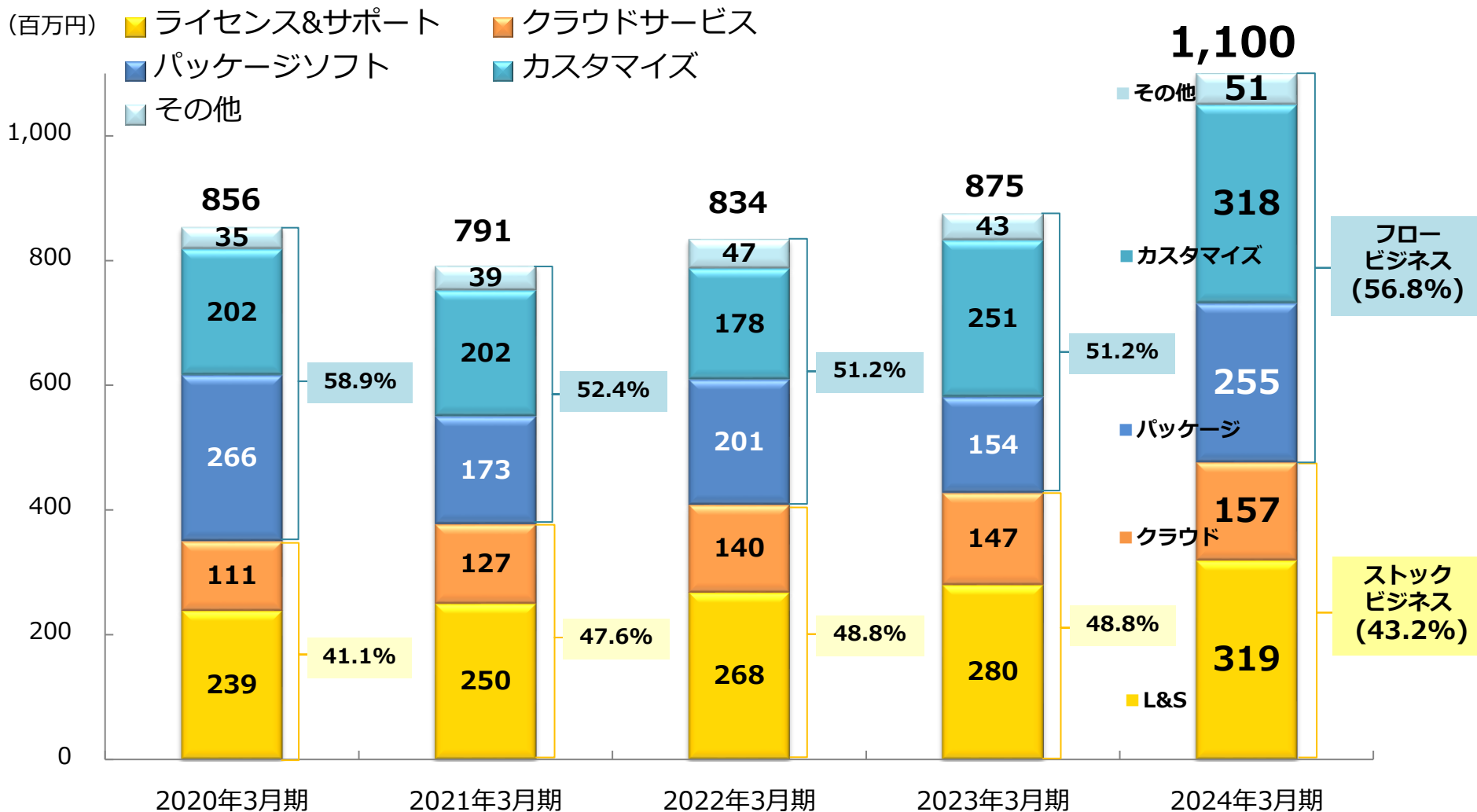
eBASE事業（パッケージソフトビジネス）



注1) セグメント間取引については、相殺消去しておりません。

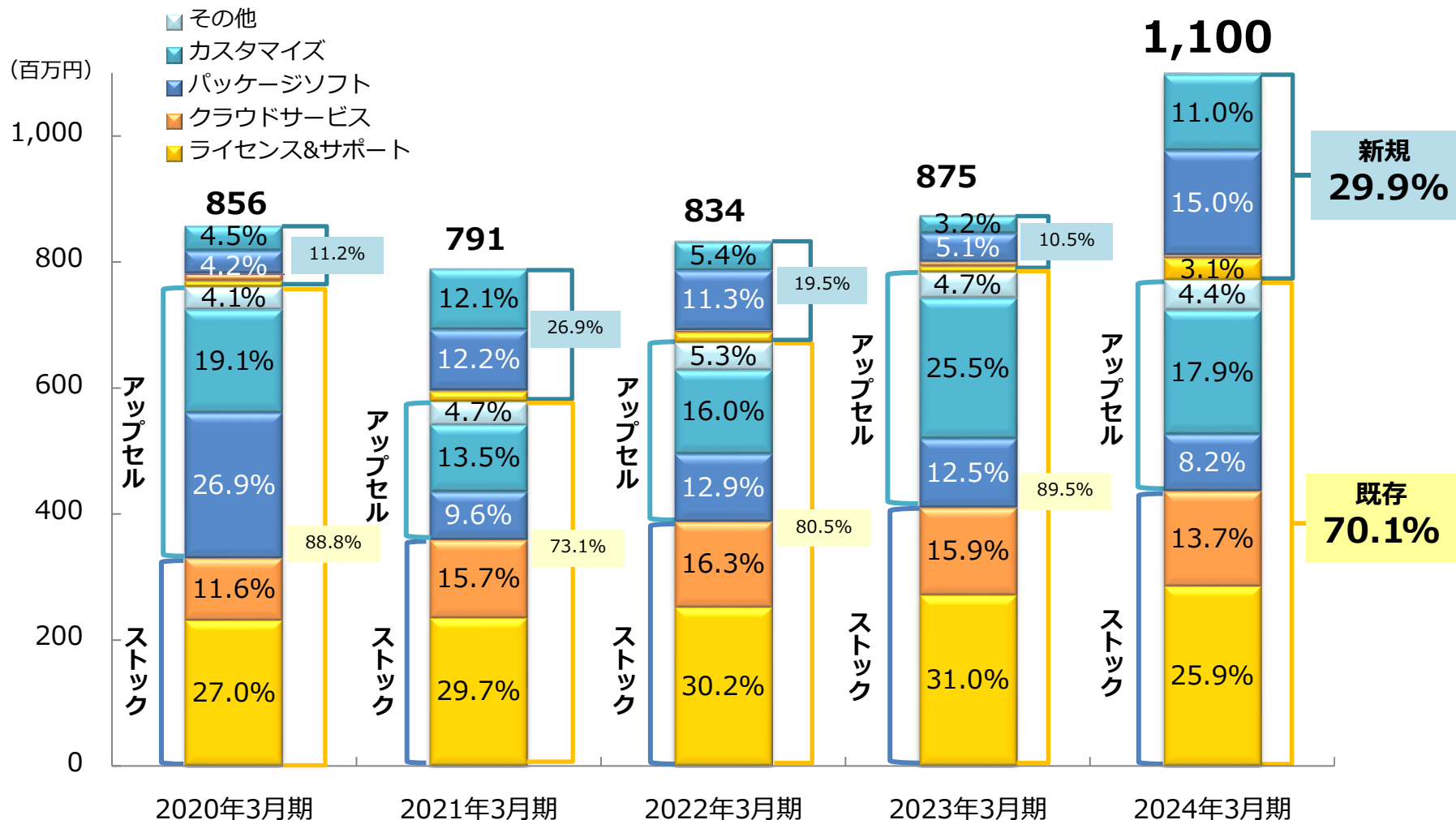
第2四半期決算セグメントの概況 / eBASE事業

種類別販売実績の推移



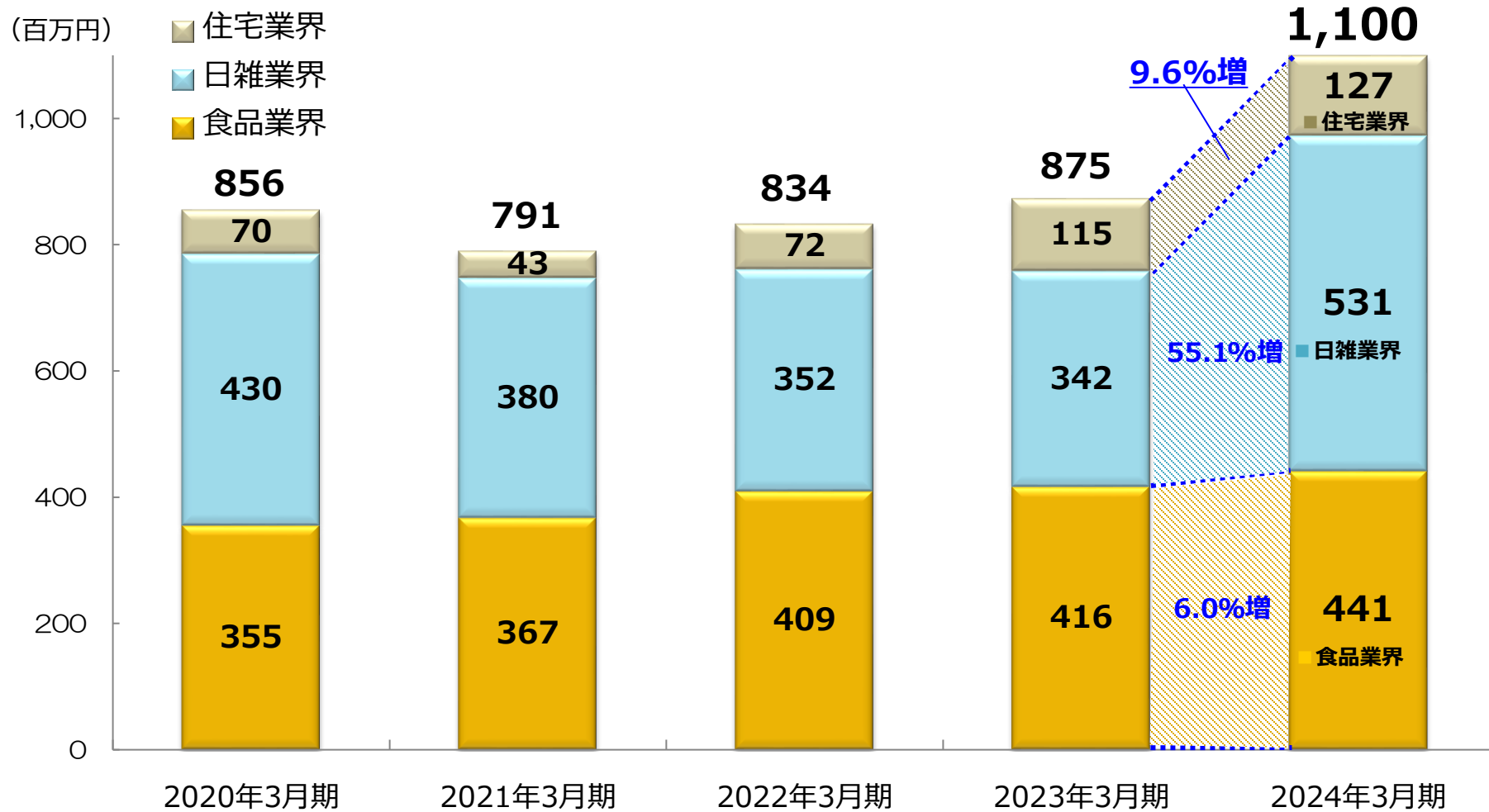
第2四半期決算セグメントの概況 / eBASE事業

新規・既存別販売実績の推移



第2四半期決算セグメントの概況/eBASE事業

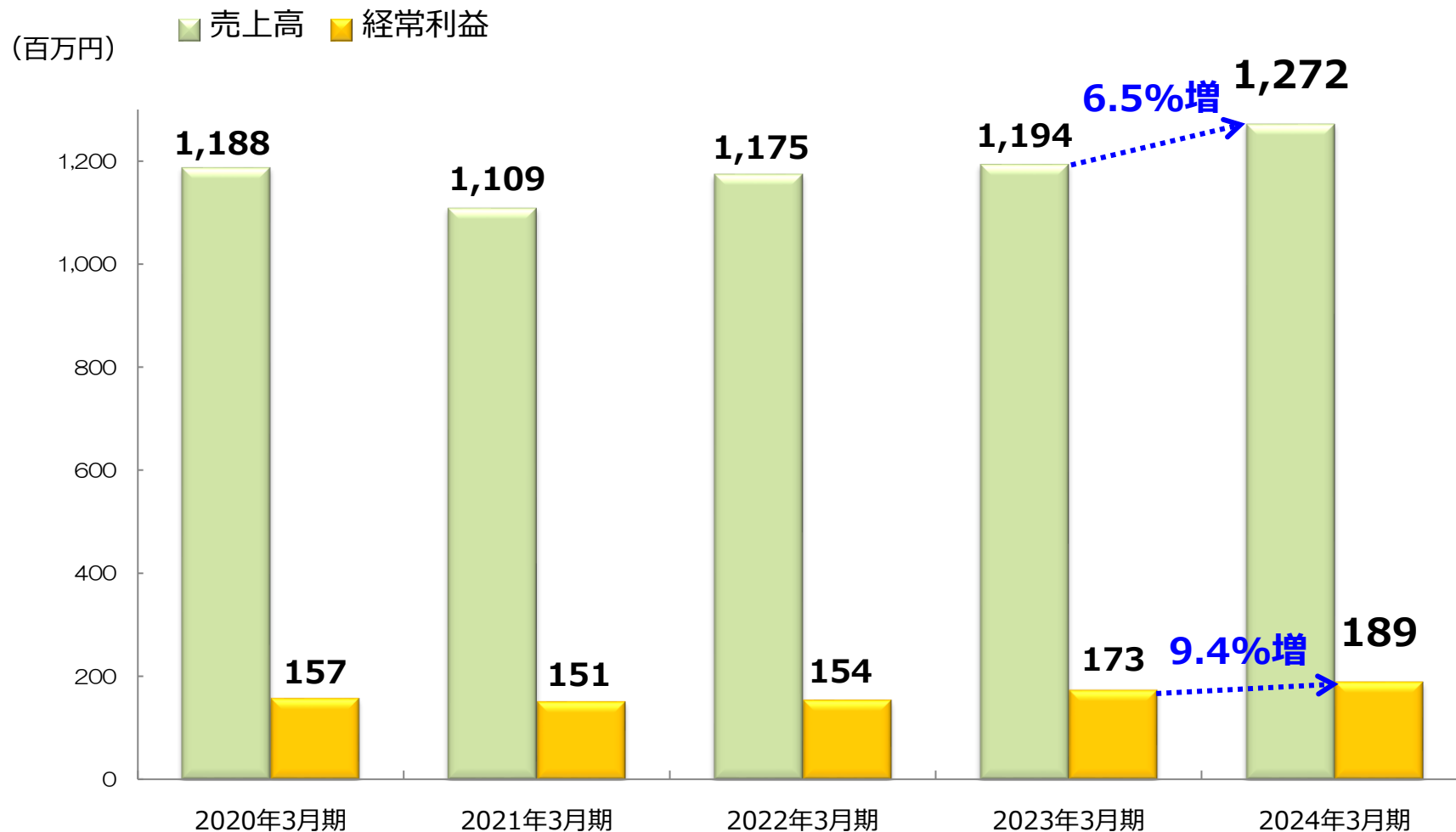
業界別売上実績の推移



注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表しております。

第2四半期決算セグメントの概況/ eBASE-PLUS 事業

eBASE-PLUS事業（IT開発アウトソーシングビジネス）



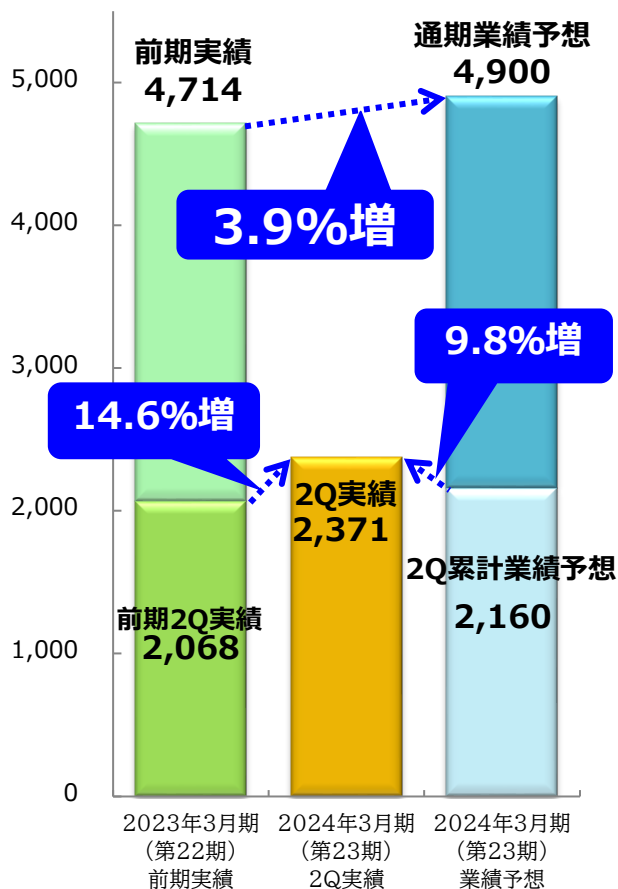
注1) セグメント間取引については、相殺消去しておりません。

2024年3月期の連結業績予想

■ 2023年3月期（2Q実績） ■ 2023年3月期（通期実績） ■ 2024年3月期（2Q実績） ■ 2024年3月期（2Q累計業績予想） ■ 2024年3月期（通期業績予想）

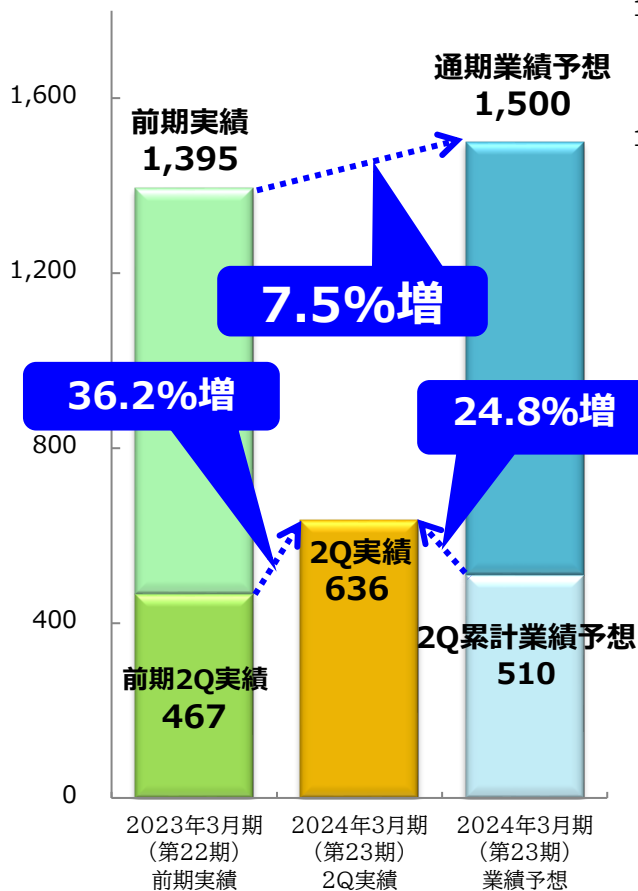
売上高

（百万円）



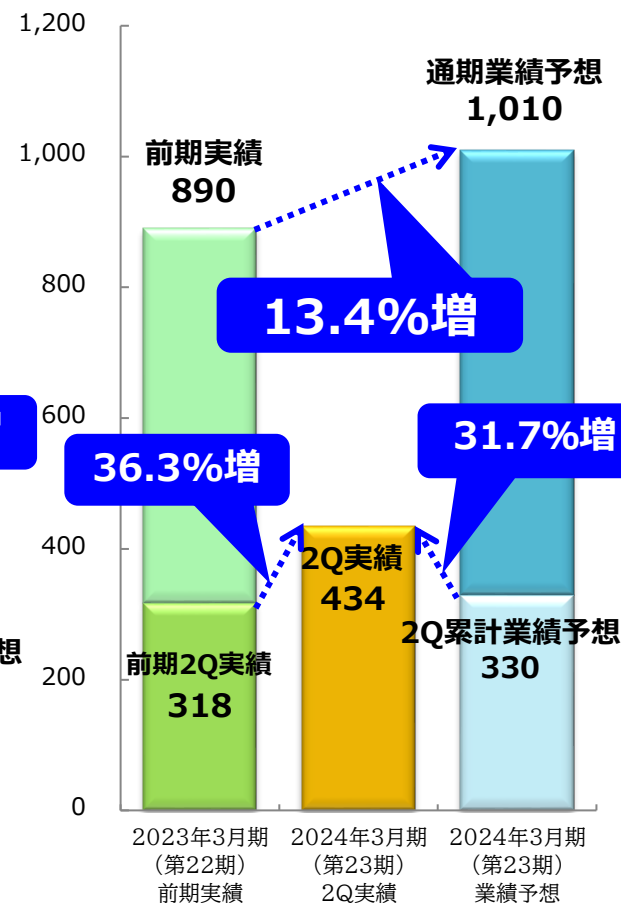
経常利益

（百万円）



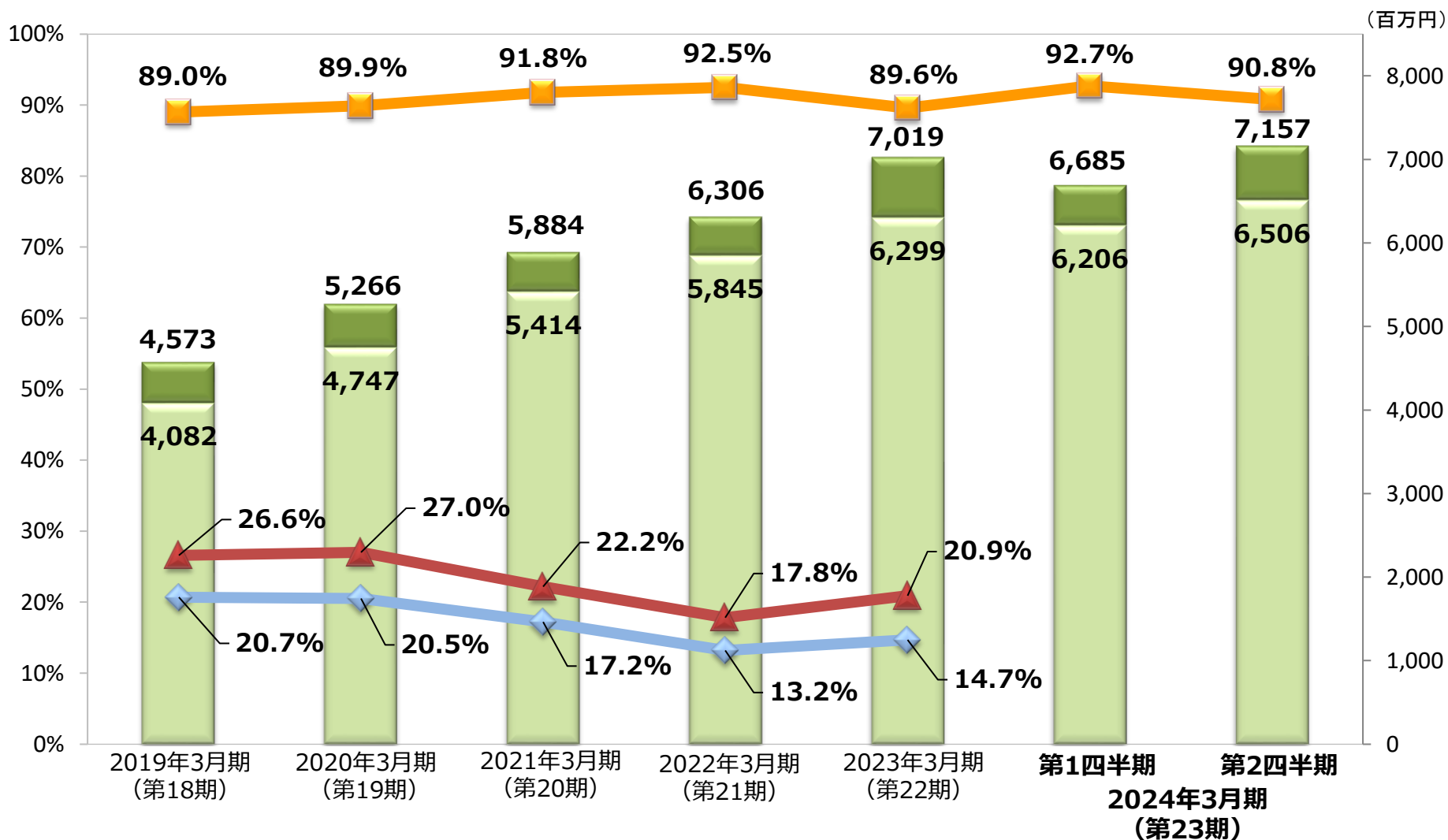
親会社株主に帰属する 四半期純利益

（百万円）



資本状況(ROE及びROA等)の推移

■ + ■ 総資産（連結）
 ■ 純資産額（連結）
 ◆ ROE（自己資本当期純利益率）
 ▲ ROA（総資産経常利益率）
 ■ 自己資本比率



eBASE事業報告

BtoBビジネス戦略 概要と進捗

創業期のミドルウェア **eBASE**
フレキシブルなDB構造 + 印刷用画像管理

コア コンピタンス

BtoB
モデル

ビジネスモデル

推進戦略

デジタル時代の到来

ワンソース

→カタログ掲載商品情報をDB化

➡仕入先からの商品情報収集

マルチユース

→次期紙カタログ制作

→デジタルカタログ制作

→基幹系システム/商品マスタ構築

➡顧客企業へのデータ提供

1st **eBASE** 商品情報の交換

プロダクト/マネタイズ

統合商品データベース **eBASE**

様々なオプション機能

- ・画像処理/**eB**-graphics
- ・アクセス制御/**eB**-access
- ・ワークフロー管理/**eB**-WF
- ・他システム連携/**eB**-cast,view,API
- ・Webカタログ/**eBASE**web
- ・カタログ制作支援/**eB**-DBP etc.

注) 0th **eBASE**における当社創業期のビジネスモデル「ワンソースマルチユース」は、当社創業前の1990年代頃から主に印刷業界で提唱された概念です。

0th eBASE

印刷メディア

- ・カタログ
- ・パンフレット
- ・チラシ、etc.

プリントメディア

- ・提案書作成
- ・商談シート作成
- ・POP作成
- ・簡易チラシ作成、etc.

基幹システム/商品マスタ

- ・販売管理システム
- ・受発注システム
- ・物流システム、etc.

他システム

- ・MD支援システム
- ・商品問合せシステム、etc.

webメディア

- ・ECサイト
- ・Webカタログ
- ・スマホアプリ、etc.



1st eBASE

取引先との商品情報交換

仕入先から商品情報収集
得意先への商品情報提供
商品データプールサービス
商材えびすへの登録と収集

現在のミドルウェアeBASE システム開発の圧倒的効率化

コア コンピタンス

BtoB
モデル

推進戦略

業界別商品情報交換の
全体最適化 生産性向上

プロダクト/マネタイズ

商品情報管理パッケージソフト

FOODS eBASE/食の安全情報管理システム
RECIPE eBASE/料理レシピ情報管理システム
GOODS eBASE/日雑商品情報管理システム
MDM eBASE/マスタデータマネジメント
PDM eBASE/新製品企画情報管理システム
.....

ビジネスモデル

業界別商品情報交換標準化

食材、日雑(日用品、雑貨)、家電、住宅、医薬、
工具、カー用品、スポーツ用品、文具、.....



商品情報データプールサービス

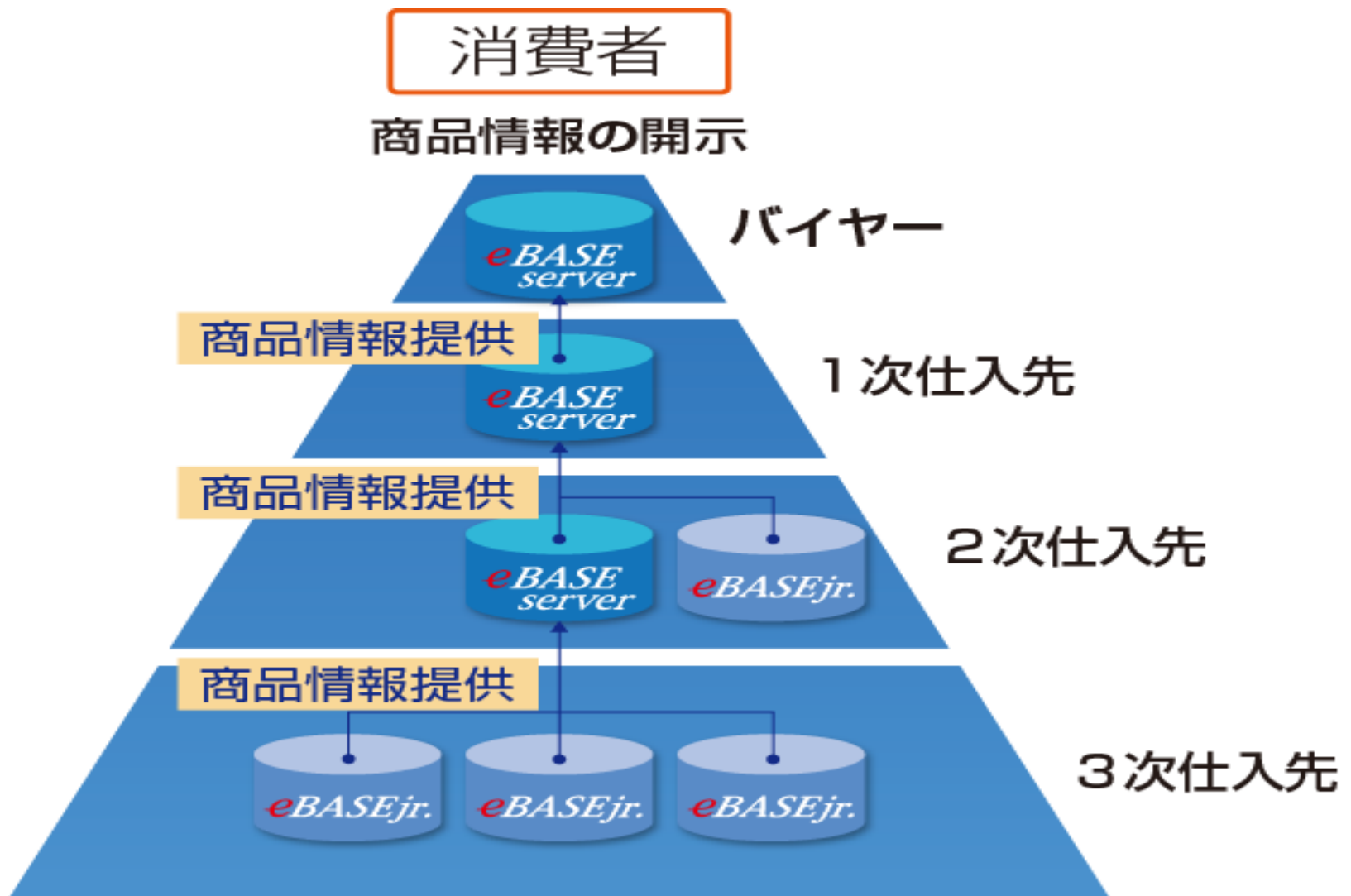
「商材えびす」

食材えびす、原材料えびす、レシピえびす、
日雑えびす、家電えびす、住宅えびす、
OTCえびす、文具えびす、工具えびす、
カー用品えびす、スポーツ用品えびす、
マスタデータえびす

BtoBサービス関連特許
第7138289号



2nd eBASE コンテンツビジネス展開



商材えびす

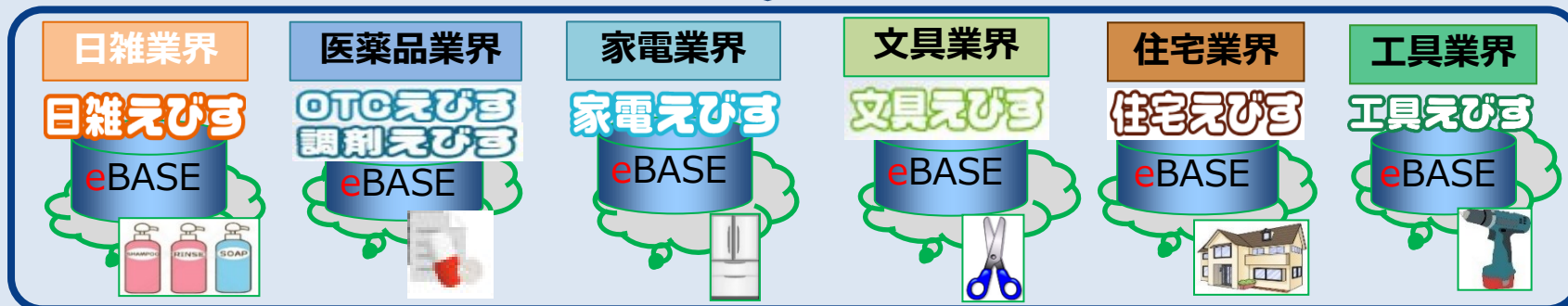
商品詳細情報の提供を効率化！

商品情報は随時更新中！！

商品詳細情報の収集を効率化！



多業界へ展開



食品スーパー、ドラッグストア、ホームセンター

商材えびす



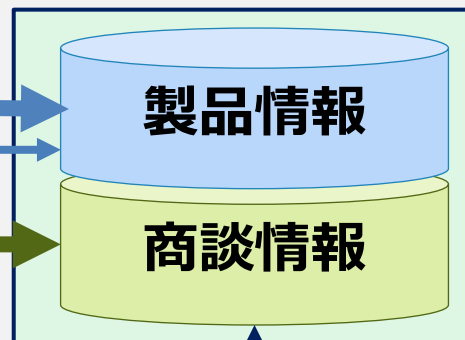
マスタデータえびす
商品マスタ情報(基本項目)



納入価格
納入量、等

サプライヤー企業

MDM eBASE



基幹系
商品マスタ

確認・承認

バイヤー

eB-MDM
マスタデータ連携

POS
レジ



物流
システム



棚割
システム



チラシ
システム



ネット
ショップ



■ 食品業界【約26,500社】

株式会社アークス
イオン株式会社
イオントップバリュ株式会社
株式会社イズミ
イズミヤ株式会社
株式会社 イトーヨーカ堂
株式会社 Aコープ東日本
株式会社エブリイ
株式会社カスミ
株式会社関西スーパーマーケット
コプロ株式会社
(オール日本スーパーマーケット協会)
サミット株式会社
株式会社シジシージャパン
株式会社静鉄ストア
株式会社 西友
相鉄ローゼン株式会社
株式会社ダイエー
株式会社天満屋ストア
株式会社東武ストア
日本流通産業株式会社
株式会社バローホールディングス
株式会社阪急オアシス
株式会社フレスタ
株式会社平和堂
株式会社ベイシア
株式会社ベルク
株式会社マルキョウ
株式会社万代
株式会社ヤオコー
株式会社ライフコーポレーション
株式会社セコマ
株式会社ファミリーマート
日本生活協同組合連合会
コープデリ生活協同組合連合会
東都生活協同組合
生活協同組合ユーコープ
生活協同組合連合会東海コープ事業連合
生活協同組合連合会コープ北陸事業連合

生活協同組合連合会コープきんき事業連合
生活協同組合コープこうべ
生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合
生活協同組合連合会コープ九州事業連合
オイシックス・ラ・大地株式会社
コストコホールセールジャパン株式会社
全国農業協同組合連合会
株式会社イトアンドフーズ
日本KFCホールディングス株式会社
株式会社ハチパン
株式会社吉野家
ワタミ株式会社
旭食品株式会社
石川中央食品株式会社
伊藤忠食品株式会社
加藤産業株式会社
カナカン株式会社
国分グループ本社株式会社
株式会社伍魚福
シダックス株式会社
株式会社ジャパン・インフォレックス
株式会社昭和
株式会社高山
株式会社種清
株式会社トーカン
株式会社東京コールドチェーン
株式会社ドウシシャ
富永貿易株式会社
株式会社ナックス
日清医療食品株式会社
株式会社日本アクセス
株式会社ノースイ
ふたば産業株式会社
三菱食品株式会社
株式会社山星屋
UCCコーヒープロフェッショナル株式会社
赤城乳業株式会社
あづまフーズ株式会社
株式会社アンデルセン

株式会社アンデルセンサービス
伊藤ハム株式会社
井村屋株式会社
井筒まい泉株式会社
エバラ食品工業株式会社
株式会社おやつカンパニー
春日井製菓株式会社
片岡物産株式会社
株式会社カネカ
カネテツデリカフーズ株式会社
カネ美食品株式会社
カバヤ食品株式会社
株式会社紀文食品
株式会社クレストレード
株式会社コモ
株式会社ジェイアール東海バスエンジェーズ
JA全農ミートフーズ株式会社
シノブフーズ株式会社
寿がきや食品株式会社
株式会社スギヨ
ダイドードリンコ株式会社
株式会社タカキベーカーリー
宝酒造株式会社
トオカツフーズ株式会社
トーラク株式会社
株式会社ドンク
株式会社永谷園
株式会社中谷本舗
白鶴酒造株式会社
株式会社ピクルスコーポレーション
フードリンク株式会社
株式会社ベストーネ
株式会社ホクガン
株式会社ホテイフーズコーポレーション
株式会社マーメイドベーカーリーパートナーズ
丸大食品株式会社
ヤマモリ株式会社
有楽製菓株式会社
一般財団法人食品産業センター
株式会社ファイネット

約26,500社

■ ホテル業界

京阪ホテルズ&リゾート株式会社
相鉄ホテル株式会社
株式会社東武ホテルマネジメント
株式会社ホテル小田急
リゾートトラスト株式会社

■ ドラッグストア業界

エバグリーン廣基 株式会社
株式会社ココカラファイン
株式会社サンドラッグ
株式会社マツモトキヨシホールディングス

■ 住宅業界【約1,100社】

株式会社スウェーデンハウス
積水ハウス株式会社
大和ハウス工業株式会社
トヨタホーム株式会社
パナソニック ホームズ株式会社
三井ホーム株式会社
マツ六株式会社
株式会社サンゲツ
大建工業株式会社
住友林業情報システム株式会社
パナソニック エレクトリックワークス
クリエイツ株式会社

■ ホームセンター・家電業界

株式会社カインズ
コーナン商事株式会社
DCM株式会社
株式会社マキヤ
株式会社エディオン
タイガー魔法瓶株式会社

■ 日用品業界【約5,750社】

株式会社赤ちゃん本舗
リンベル株式会社
小林製薬株式会社
大王製紙株式会社
ユニ・チャーム株式会社
株式会社プラネット

■ 文具・オフィス家具業界【約1,250社】

コクヨ株式会社
シヤチハタ株式会社
株式会社オカムラ
株式会社カウネット
プラス株式会社

■ 工具業界【約1,450社】

喜一工具株式会社
株式会社 ジーネット
株式会社NaITO
株式会社ヒシヒラ
藤原産業株式会社
株式会社山善
TONE 株式会社

■ ファッション・アパレル業界

島田商事株式会社
株式会社ムーンスター
株式会社エイゾーコレクション
株式会社フィン
株式会社ラボ・キゴシ

■ スポーツ用品業界

株式会社メガスポート
ゼット株式会社
デサントジャパン株式会社
ニッキー株式会社
自動車用品・部品業界
株式会社オートバックスセブン

■ 環境・グリーン業界【約2,900社】

ゴムノイナキ株式会社
株式会社片山化学工業研究所
DIC株式会社

■ その他業界

佐川印刷株式会社
株式会社消費科学研究所
ホリアキ株式会社
和気産業株式会社

約10,000社

食品業界

2024年3月期 施策

- ・ 食の安全情報交換の全体最適化を推進
- ・ 現事業モデル(1st eBASE)「FOODS eBASE」の継続推進
- ・ 商品データプールサービス「食材えびす」のデファクト化継続推進と販促強化
- ・ 食品小売業の非食品系えびす運用の推進
- ・ 2nd eBASE(BtoBtoC):「e食住なび」シリーズへの連携展開

その進捗

- ・ 売上実績（2Q累計）：441百万円(前年同四半期比6.0%増)
- ・ 売上高は、前年同四半期比で増加

【売上面】

- ・ 大手コンビニエンスストアの生産加工商品管理のシステムリプレイス継続案件を一部売上計上
- ・ 「FOODS eBASE」のサーバーリプレイス等の複数の既存中型継続案件を売上計上

【受注面】

- ・ 新規のワイン輸入商社から商品情報DB導入の大型案件を受注し、要件定義工程を売上計上
- ・ 新規の加工食品メーカーから「FOODS eBASE」と連動する原価シミュレーションシステムの大型案件を受注

日雑業界

2024年3月期 施策

- ・ 日雑業界（ドラッグストア業界、ホームセンター業界、家電業界、文具業界、スポーツ用品業界、カー用品業界、通販業界等）で商品情報交換環境の全体最適化を推進
- ・ 商品データプールサービス「日雑えびす」を中心に「商材えびす」の販促を推進
- ・ 顧客企業のカスタマイズ型統合商品DB受託開発及び大型の商品DB型Webサイト構築の展開
- ・ 2nd eBASE(BtoBtoC):「e食住なび」シリーズへの連携展開

その進捗

- ・ 売上実績（2Q累計）：531百万円(前年同四半期比55.1%増)
- ・ 売上高は、各業界における受注案件の進捗状況が順調に進み、大手ホームセンターの大型案件で前倒し検収が進んだことにより、前年同四半期比で大幅な増加

【売上面】

- ・ 大手ホームセンターの「PDM eBASE」導入の大型継続案件を売上計上
- ・ オフィス家具メーカーから簡易見積作成Webサイト構築の大型継続案件の一部を売上計上

【受注面】

- ・ カタログギフト事業者のカatalog制作支援システム「eB-DBP」と商品マスタシステム「MDM eBASE」を活用した統合商品DB構築を受注し、一部を売上計上
- ・ 新規の大手ホームセンターから「商材えびす」と連携する「MDM eBASE」案件を受注し、一部を売上計上

住宅業界

2024年3月期 施策

- ・商品データプールサービス「住宅えびす」のデファクト化推進
- ・「住宅えびす」を中心に「商材えびす」の販促を推進
- ・建材メーカーや部材メーカー等のカスタマイズ型統合商品DBの受託開発、及び大型の商品DB型Webサイト構築の展開
- ・2nd eBASE(BtoBtoC):「e住なび」への連携展開
→「住宅えびす」を一般部材用途で「e住なび」を展開

その進捗

- ・売上実績（2Q累計）：127百万円(前年同四半期比9.6%増)
- ・売上高は、前年同四半期比で増加

【売上面】

- ・大手総合建材メーカーより、商品DB型Webカタログサイトの追加カスタマイズ開発の一部を売上計上
- ・床材・壁材製品の大手中建材メーカーの統合商品情報DB構築案件が完了し売上計上

【受注面】

- ・新たに3社目の大手ハウスメーカーにて、「e住なび」を活用した施主向けの取扱説明書電子化システム環境構築を受注し、一部を売上計上

eBASE事業報告

BtoBtoCビジネス戦略 概要と進捗

◆業界別商品情報データプールサービス 「商材えびす」

コア コンピタンス

◆OMO/CX/DX推進

ビジネスモデル

小売企業(B)

消費者向けアプリ採用

販促(B)効果増

採用小売が
普及促進
(BtoC)

消費者 (C)
ユーザー増

3rd eBASE PersonalProfileビジネス展開

BtoBtoC
モデル

◆エコシステム

推進戦略

Only One → 商材えびす活用
企画力 → 特許+先行逃げ切り
超安価 → MWeBASE+多業界共通

プロダクト/マネタイズ

◆OMO/CX/DX推進の消費者向けアプリ

e食住なび、e食住ちらし、e食住カタログ、
e食なび、e食くいず、e食れしび、e住なび…

BtoBtoCサービス関連特許

第6758734号	第6798741号	第6807105号
第6820016号	第6857373号	第6884355号
第6901742号	第6943382号	第7024952号
第7089251号	第7089252号	第7096562号
第7198461号	第7302803号	第7345810号
.....		

圧倒的にコストパフォーマンス高く、OMOで小売業のCX向上とDX支援！ (多言語にも対応！)



「e食住ちらし：特許第6943382号」「e食れしび：特許第7198461号、特許第6758734号、特許第7089251号、特許第7302803号」「e食住なび：特許第7089252号」

My設備を設備DBから検索・登録



ハウスメーカーが、新築設備は、登録済！

我家の設備マニュアルが直ぐに探せる！

後で、購入した家電も、検索、追加登録できる！自動登録して欲しい！

購入レシート、保証書も撮影、管理できる。

購入予定の家電チェック商品情報、取説、パンフ

「e住なび：特許第7024952号」

My設備一覧



商品情報



マニュアル



検索

My設備

設備DB

商品情報/マニュアル
+パンフレット

- ・住宅設備、建材
- ・家電製品、工具、etc

マニュアルを頁めくりで閲覧！
スマホでは少し小さいが..
PC,タブレットなら見易い！

マニュアル内文字検索が
できるので、探し易い！

商品スペックも簡単に
確認できる

小売企業・ハウスメーカー
eBASE

家電えびず

住宅えびず

商材えびず

【BtoBtoCモデル】

- ・株式会社マキヤのディスカウントストア事業で新たに「e食住暮らし」への展開、及びスーパー業態での年内展開も決定
- ・大手家電量販店では、「e食住カタログ多言語版」の本番運用を開始
- ・住宅業界では大手ハウスメーカーで、「e住なび」運用に向けたサプライヤー向け説明会を開催

【特許戦略】

- ・電子レシート連携の食ログ機能（特許第7345810号）を新たに取得

※Topics 株式会社マキヤ エスポット(ESPOT)での「e食住なび for DX」の事例



店舗の陳列コーナーに
バーコード付きの棚札、POP等を設置

さらに便利に! LINE ミニアプリ

High Quality Low Price eShop

ESPOT 商品検索

QRコード

簡単検索
キーワードやカテゴリから、ESPOT取り扱い商品を検索できます

店舗検索
検索した商品のお近くの取り扱い店舗をご確認いただけます

バーコード (JANコード) スキャンで商品詳細確認

多言語対応 Bilingual Support
日本語 English

© 株式会社マキヤ / iOS 14.0以上 / Android 5.0以上

https://www.ebase.co.jp/news/news2023/news_2023_07_03.html

ビジネス戦略展開と「0th ⇔ 1st ⇔ 2nd eBASE」のシナジー効果

ビジネスモデルの進化

3rd eBASE

Core Competence

創業期の
MWeBASE

Business
Model

ワンソース
マルチユース

0th
eBASE

Sales
strategy

IT
時代

Product & Monetize Model

eBASE/統合商品DB
+
eBASE/webカタログ
+
eB-DBP

展開

Core Competence

現在の
MWeBASE

Business
Model

商品情報
交換標準化

1st
eBASE

Sales
strategy

業界
全体
最適化

Product & Monetize Model

FOODSeBASE
GOODSeBASE
GREENeBASE
+
MDMeBASE
PDMeBASE

展開

Core Competence

商材えびす

Business
Model

B
to
B
to
C

2nd
eBASE

Sales
strategy

USER
数

Product & Monetize Model

e食住なび
e食住ちらし
e食住カタログ

展開

既存ビジネスの展開、その強度アップ

eBASE-PLUS事業報告

ビジネス概要と進捗

eBASE-PLUS事業概要

顧客企業からの受託開発、受託オペレーション、受託サーバー保守等の
「IT開発アウトソーシングビジネス」

◆システムソリューション

①ソフトウェア開発

企画・分析・設計・構築・導入・運用管理・保守をサポート。

②インフラ構築

サーバー、クライアント環境構築業務をサポート。

◆サポートサービス

①統合運用管理

ITシステムの運用をサポート。

②ヘルプデスク

1次対応から技術スキルを要する2次対応までのヘルプデスク。

eBASE-PLUS / 今期施策とその進捗

eBASE-PLUS事業（IT開発アウトソーシングビジネス）

2024年3月期 施策

- ・ 既存IT開発アウトソーシングビジネスの維持
- ・ 安定低成長モデルとして既存施策の継続を推進
- ・ 人材の新規採用の継続及び育成
- ・ eBASEビジネスとの連携
- ・ 優良M&A案件の推進

その進捗

- ・ 売上実績（2Q累計）：1,272百万円(前年同四半期比6.5%増)
- ・ 利益実績（2Q累計）：189百万円(前年同四半期比9.4%増)
- ・ 売上・利益は前年同四半期比で増加
- ・ 顧客ニーズに沿った案件獲得に注力
- ・ 稼働工数増加のため即戦力となる中途採用を推進するが、引き合いに見合う人材の確保は厳しい傾向が継続
- ・ 引き続き、自社のオンライン教育システムの強化を行い、新入社員及び既存社員の教育に注力し、スキルアップによるハイスکیلな高単価案件へのシフトを図る
- ・ 顧客との単価交渉を継続的に実施

eBASEグループの企業理念

企業理念

1

貢献なくして利益なし

社会貢献できる事業でないと、
利益を得る事はできない。

contribution

貢献

1



profit

利益

2

2

利益なくして継続なし

利益を得られる事業でないと、
継続する事はできない。

continuation
sustainability

継続

3

3

継続なくして貢献なし

継続できる事業でないと、
社会貢献にはならない。

本資料お取り扱い上の注意点

本資料は決算説明及び当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

IRに関するお問い合わせは、弊社HPの
「IRに関するお問い合わせ」フォームよりお願い致します。